

江戸川区立松江第六中学校



学校だより

令和7年1月9日 第9号

江戸川区立松江第六中学校

校長 小野満 賢

困っている人に手を差し伸べられる人になりたい

校長 小野満 賢

昨年12月20日(金)の朝日新聞に、「第2回わたし大賞」(主催:三井住友信託銀行 協力:朝日新聞社)の受賞作品が紹介されていました。

「わたし大賞」は、一人ひとりの心を動かした「人モノコト」に光を当て、賞状とエピソードにして讚え、書く人読む人の前向きな気持ちを共有することで、「幸せ」を創造する活動(HPより引用)だそうです。“素晴らしい出来事に。感謝したいあの人に。愛すべきモノたちに。忘れられないあの場所に。一期一会のあの瞬間に。いま、わたしだけの「大賞」を贈る。”というコンセプトで作品を募集しており、応募作品の中から選定委員の方が幾つかの年間の大賞を決めているようです。2024年度は実に6,810作品もの応募があったとのことでした。

私がこの日、偶然目にしたものが、今回の受賞作品の一つで、埼玉県 of 55歳の植田 郁男さんという方が投稿した「満員電車の奇跡賞」です。ここに登場するランドセルを背負った小学生のまっすぐな優しさと行動力に、心から感動しました。

エピソード
朝の満員電車。体調が悪く、吊革にしがみついて俯いていると下から声がする。
「おじさん、大丈夫？」
見るとランドセルを背負って黄色い帽子を被った少年が見上げている。力なく頷くと、ふいに少年は声を張り上げた。
「具合の悪い人がいます。誰か席を譲ってください！」
その声に反応して、2、3人が腰を上げた。そのうちの1席に私の手を引いて座らせると、席を譲ってくれた方に私より先にお礼を述べている。私は少年と、席を譲ってくださいだった方に頭を下げるのが精一杯だった。終点に到着したアナウンスと共に顔を上げると、ドアから足早に出ていく少年のランドセルが目映った。お礼は言えないままだった。
朝の満員電車は、慌ただしさと微かな苛立ちに満ちている。そんな中、幼い少年が示してくれた優しさと気力は、たぶん私以外の乗客の方々の心にも何かを残したように思える。あの日、体も心も救ってくれた彼に、精一杯のありがとうを伝えたい。

植田 郁男 (埼玉県55)

満員電車の奇跡賞

ランドセルの君殿

5年前。朝の満員電車。
具合の悪い私のために大きな声で「席を譲ってください」と車内に呼びかけてくれたランドセルの君に、あの時言えなかった「ありがとう」を大きな声で送ります。

あの日救われたおじさん



自分も心に余裕のない朝の通勤時間。1分1秒を争うバタバタした時間。私は本当に困っている人を見かけたとしても、見ないふりをしたり、自分には時間が無いから仕方がないと言い訳をしたりして、手を差し伸べるどころかポケットに突っ込んだ手を外に出すことすらしてきませんでした。

でも、このランドセルの少年の行動は衝撃的でした。この記事に出会って、私は変わろうと思っています。少なくとも心に余裕をもち、周りの様子に気を配りながら、通勤しようと思っています。

年の初めに、皆さんにも紹介します。

令和6年度3学期の始業式は穏やかな晴天に恵まれました。

新学期の生徒たちの動きは早く、体育館への移動開始時には、すでに全学年の整列が完了していました。心配していたインフルエンザの大きな流行も見られず、明るく落ち着いた表情の松江六中の生徒たちは整然と並び、まっすぐに壇上の校長に視線を向けてくれていました。

2025年が始まりました。

「煩わしいこともあるけれど、学校ってやっぱり楽しいよね。」そんな声がたくさん聞こえてくるように、松江六中は今年も人の温かさや、人と関わることの良さを生徒自身が実感できるように、密な関わりを大切にしていきたいと思っています。



チャレンジ・ザ・ドリーム（2年） 11/28（木）～12/4（水）

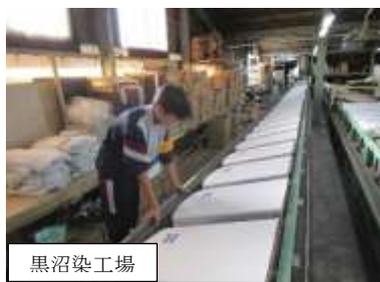
医療・建築・製造・飲食・販売など、区内の様々な事業所に加え、校内施設の管理・整備をお願いしている主事さんにもご協力いただき、今年度のチャレンジ・ザ・ドリームは全43箇所で開催させていただきました。

体験に向けては、1年生から準備を進めてきました。自分の興味や適性に合う職種や、その仕事内容などについて半年ほどかけて学びを深めたうえで、昨年はキッザニア東京での体験を通して「職の多様性」を肌で感じることができました。事後アンケートでは95%以上の生徒が「働くことの楽しさを知ることができた」と回答していましたが、一方で、「自分のやりたいことが明確になった」という生徒は4割ほどにとどまり、チャレンジ・ザ・ドリームに向けての課題を見付けられたのは大きな成果でした。



11月28日（木）からの5日間、学校を離れての職業体験は想像を超えるほどの厳しさだったようで、日々の日誌の中には「仕事は遊びではないこと、一人では成り立たないことを知った」「集中すると周りが見えなくなるという自身の欠点がわかった」「努力したことではなく、結果が評価されるという厳しさを知った」「命を預かることの大変さと責任感を学んだ」など、働くうえでの姿勢について言及するコメントが多くみられました。また、自身の体験中の姿勢についてアンケートを実施したところ、「時間を守った」「言葉遣いに気を付けた」「進んで仕事に取り組んだ」などの項目で、いずれも98%を超える高評価となっていました。





何よりも注目すべきは「自分の将来について考える機会となった」との回答が95%を越えたことで、「将来の職種や高校のことを調べるようになった」「思っている以上に自分にはできることがあると知った」「指示されたことをやるより、自ら進んで取り組んだ方が何倍も楽しいと知った」「自分の仕事で誰かが幸せになると知り、やる気が出てきた」「自分の可能性は無限だと思うようになった」「将来したいことをするために、今頑張らなければならないと思うようになった」など、自身の将来像に言及する生徒が多かったのは、この五日間がどれほど充実していたかを表していると思います。

補足ですが、「自分の将来について家族と話ができていない」と感じている生徒が3割ほどいるようですので、職業観や人生観、就職や進学に関するお互いの思いを共有していただけると、この5日間の学びがより深まるかと思えます。

体験先の開拓にあたっては、保護者の皆様に多くのご支援を賜りました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

(文責：担当 池尻 辰雄)



お世話になった職場体験先（順不同） ありがとうございました。

掲載しません

計 43 事業所

校外学習（1年）都内めぐり 11/29（金）

あの都内めぐりから1カ月経ちましたが、今でも一人一人が最善の努力をし、成功させようと互いに協力し合った日々が思い出されます。

校外学習にあたり生徒たちは、実行委員と各係に分かれ、短い準備時間の中にあっても、一人一人がやるべき仕事をやり遂げました。実行委員は1カ月以上も前からスローガンの決定やルール作りに携わってくれました。協調性をもって班行動を行うためにはどのようなルールが必要なのかを時間をかけて丁寧に話し合い、この校外学習の成功に欠かせない大きな力となりました。

また、係生徒は、各班の代表者として仕事を果たさなければならないという気持ちを全員がもって挑みました。どうすれば班行動がスムーズに行えるか、迷うことなく目的地にたどり着くために道順はどうすればいいのか、交通費や入館料などの費用はどれくらいかかるのかなどなど、じっくりと調べ、考える良い機会となりました。今回の校外学習での一番の成果は、素晴らしい団結力だったと思います。準備の段階から都内巡りを終えて帰ってくるまで、それぞれが役割を果たし、全員で協力する姿を見せてくれたと思います。

全てのクラスが校外学習に向けて順調に進んできたわけではありません。時に意見が対立したり、試行錯誤しながら悩んだりすることもあったことでしょう。学年での行事をより良いものにしようという気持ちがあるからこそ、ぶつかることもあったと思います。それらの体験から学ぶことも多かったのではないのでしょうか。自分たちの力で何かを創り上げることは決して容易ではありません。だからこそ今回の成功の喜びはひとしおです。校外学習を成功させようという目標を共有し、苦勞を乗り越えて得た経験は、ますます学級や学年の絆を強め、さらなる飛躍と発展へ繋がり、一人一人の今後の生活や学習に必ず生かされると信じています。そして校外学習のスローガンの「修学旅行に向けて協調性をもって成功させる TOKYO travel」の通り、2年後の修学旅行や日々の学校生活にこの経験を活かして行ってほしいと願っています。最後になりましたが、保護者の皆様のご協力に感謝いたします。



(文責：担当 飯岡 留菜)

給食試食会 12/4 (木)

P T A 学年成人委員さんに様々な対応をいただいて、12月4日(木)の昼の時間に令和6年度の給食試食会が開かれました。昨年度を大きく上回る22名の保護者の方が参加し、この日の生徒と同じメニューを試食しました。食後に本校の給食について森岡栄養士から詳しく説明をさせていただきました。成長期のお子さんの1日の食事の3分の1を担う給食についてはやはり関心が高く、熱心にお聞きいただいている様子が見られました。

最後にお一人ずつ感想をいただきましたが、「子どもが家で給食が美味しいというので実際に食べてみたが本当に美味しかった」「家では野菜が苦手だったり、偏食だったりするが、給食には多くの野菜がふんだんに入っており、偏りなく食べることができていて有難い」「世界の料理や郷土料理・セレクト給食などの工夫があって驚いた」「アレルギー対応を細やかにしており安心できる」といった声が聞かれました。また、「クラスで食べ残さないために量を増やしたり減らしたり個々に調整しなければならぬ配膳係が大変そう」というお話や、「高校に進学した後のお弁当作りが心配だ」といった声も聞かれました。「HPの本日の献立には必ずコメントが載っているのも見えています」という有難い声もありました。「時々レシピも紹介してもらいたい」という要望もありましたので、今後検討していきたいと考えております。3年間この試食会に参加したという方もいらっしゃいました。卒業後は残念ながらご案内はできませんが、引き続きご理解とご協力をよろしく願います。お忙しい中有難うございました。



12/4 (木) の献立
*ごはん *エコふりかけ
*大豆入り鶏つくね
*小松菜とキャベツのお浸し
*すりごまのみそ汁
*牛乳 *みかん

エネルギー (kcal)	758
たんぱく質 (g)	35.2
カルシウム (mg)	430
鉄 (mg)	5.1
塩分 (g)	2.7

1食約355円で提供しています。

歯科指導（1年生）12/4（木）⑤

学校歯科医・松居先生、つくし歯科・三橋先生より、歯と口の健康についてお話をいただきました。歯みがきはむし歯予防だけでなく、インフルエンザ予防にも効果があること、歯周病は口の中だけでなく、全身の健康を脅かす病気であることなどを教えていただきました。

「めざせ むし歯・歯周病ゼロ！」

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ①食べた後は歯みがきをしよう！ | →歯垢（プラーク）を増やさないために。 |
| ②デンタルフロスを使おう！ | →歯と歯の間の歯垢を残さないために。 |
| ③「フッ素」入り歯みがき粉を使おう！ | →歯の質を強くし、むし歯菌の活動を抑える。 |
| ④生活習慣を見直そう！ | →おやつはだらだら食べない、飲まない。 |
| ⑤かかりつけの歯医者さんに行こう！ | →半年に1回、歯のチェックを。 |

【生徒感想】

- ・歯が1本なくなるだけでかむ力が60%に減ったり、しゃべるのに支障が出たりすることが分かった。これからもっと1本1本の歯を大事にケアしていきたいと感じた。
- ・むし歯は体の病気にも関係すること、人のかむ力はすごく強いということが印象的だった。ただ歯みがきをするだけでなく、みがき方に注意したい。
- ・むし歯になると歯が溶けて怖いと思った。むし歯にならないように、しっかり歯みがきをし、歯と歯の間もケアしていこうと思った。

（文責：主任養護教諭 高須 弓美）

五町会防災訓練ボランティア 12/15（日）

雲一つない晴天のもと、第11回五町会合同防災避難訓練が松江六中と西一之江小を会場に行われました。コロナが明けてから五町会の防災避難訓練は再開されましたが、昨年までは11月に予定されていたため学校の定期考査期間と重なっていましたが、今年は12月開催となり、中学生もボランティアとして9名が手を挙げ、参加することができました。まずは西一之江小の体育館で段ボールハウスの組立に従事しました。一時避難となる簡易な段ボールハウスですが、間仕切りが同じ高さになるように、カッターナイフで調節しガムテープで貼り合わせていきます。協力し合いながら体育館の半分くらいのスペースに小一時間ほどで完成させました。少しでも避難者の心が和むようにと段ボールの壁にフェルトペンで絵を描くなど、中学生らしいアイデアを発揮していました。また、避難者の情報や自治体からの情報を貼り出す掲示板（ホワイトボード）の作成やレイアウトにも携わりました。

松江六中会場ではVR防災体験車や消防車・起震車等が配置され、江戸川消防署や消防団の方による様々な訓練や体験をすることができました。中学生は松江六中に戻ると、VR防災体験や初期消火訓練、応急救護訓練などを次々と体験させてもらいました。特にVR防災体験車は東京に1台しかない貴重なもので、バーチャル映像のよりリアルな地震の状況を体験することができました。

そう遠くない未来に必ず起こるであろう大都市圏での直下型地震。十分な備えと心の準備、またこういう防災避難訓練を体験していることが実際の場面で正しい行動ができることに繋がっていくそうです。ボランティアの9名はその後の片付けも気持ちよくてきぱきと行い、地域の多くの方からお褒めの

言葉をいただきました。お疲れさまでした。

ボランティア生徒 (敬称略)			
(3-3)	(2-1)	(2-1)	(2-3)
(2-3)	(2-3)	(1-2)	(1-2)
(1-2)			



8時30分に六中集合



西一之江小での避難所開設待機



段ボールハウスづくり



VR防災体験中



仮の家族として避難所体験



片付けもテキパキ実施中

避難訓練～不審者対応 12/17 (火)

午後3時5分、不審者の侵入を知らせる放送が流れました。この放送は犯人を刺激しないように、そして犯人の居場所がわかるように往年の生活指導部の先生方が考えた定型の文で、これを聞いた生徒たちはさっそく教科担任の指示に従って、生徒机や椅子・教卓等を組み合わせて教室の出入口にバリケードをつくりました。これは、通報を受けた警察官が駆け付けるまでの間、少しでも犯人が教室へ侵入するのを遅らせるためのものです。机や椅子を交互に組み合わせて、目の高さ以上にするのがポイントです。また、ドアが開かないように敷居の溝に机を倒した状態で置くのも効果的とされています。

校長が「さすまた」を持って各教室のバリケードの強度を確かめて回りましたが、ドアが一切開かない教室もありましたし、ドアが開いたとしても、さすまたで押してもびくともしない堅牢なバリケードを築いた教室もありました。

実際には起きて欲しくはありませんが、こういう経験をしているのとしていないのでは、いざというときの動きが違ってきます。もしもの時の対応力をつけておくのは大事なことで再認識しました。

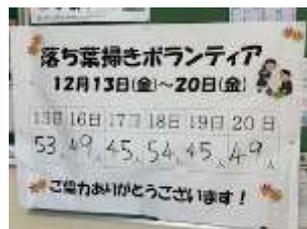


バリケード

冬の落ち葉掃き活動 12/13(金)～20(金)

生徒会の美化プロジェクトの一環で、朝の7時50分から8時10分までの20分間、6日間にわたって校庭や学校周辺の落ち葉掃きを行いました。

12月に入り急に朝の冷え込みが厳しくなりましたが、いつもより早く登校したボランティアの生徒たちの元気な声が響きます。友だちと談笑しながらもほうきを懸命に動かしている生徒の姿が印象的でした。前日にきれいにしても翌朝には落ち葉でいっぱいになっているこの季節、本校の用務主事さんも助かっているようでした。6日間で延べ300人近いボランティアが参加し、環境美化に貢献しました。あいさつも飛び交い、朝の気持ちの良いスタートとなりました。



土曜授業公開・道徳授業地区公開講座・講演会 12/21(土)

2学期末の最後の土曜日に授業公開を行いました。1時間目は通常の授業を行いました。その後は道徳授業地区公開講座として、2時間目は全クラスが「社会参画・公共の精神」の内容項目で道徳の授業を、3時間目にはその道徳の内容に関連した内容で講演会を行いました。

1年生は「子どもも親も笑顔の町に」、2年生は「加山さんの願い」、3年生は「憧れの消防団」という読み物教材を使っでの道徳の授業でした。社会参画とは、社会の一員として、様々な計画に主体的にかかわろうとすること、人任せにしないで積極的に参加し、役割や責任を果たすことをいい、公共の精神とは、社会全体の利益のために尽くす精神のことをいいます。中学生になると、求められること期待されることはより大きくなり、よりよい社会の実現に向けて担う役割も大きくなっていきます。少し難しい内容でしたが、個別で考えたことを班やグループで話し合い、さらにそれを全体に発表したり、タブレットで共有したりするなどして、自身の考えを深めることができたのではないのでしょうか。

講演会は、宮城県石巻市や能登半島などの被災地やTOKYO2020、東京マラソン等で様々なボランティア活動を行っている新開 旭さんをお迎えしました。進行役の日本財団ボランティアセンターの山本純也さんとの軽妙な掛け合いを通して、ボランティアの現状や、やりがい、活動を通して得られることなどを分かり易くお話しいただきました。本校の生徒はすでに多くのボランティア活動に関わっていますが、まだやったことが無い人のボランティアを始める一歩に繋がると嬉しいです。最後は3年の学年委員長、
さんから講師の方へ感謝の気持ちを伝えました。



学校評議員会 12/21(土)

12月21日(土)午前9時から、学校公開と並行して今年度2回目となる学校評議員会を会議室で行いました。校長の挨拶に続き、副校長から、前回(9/7)の学校公開のアンケート結果、生徒の学習アンケート結果、保護者の学校評価アンケート結果、全国学力・学習状況調査の結果について説明をしました。その後はアンケートの回収率について、不登校・いじめの認知件数について、生徒に貸与されている端末の制限について、デジタル教科書について、部活動の地域移行や外部指導員・部活動指導員などについて質問があり、回答に対して意見をいただきました。学校の教育活動については概ねご理解と賛同をいただきました。

その後、2時間目の道徳の授業を短い時間でしたが全クラスを参観して回りました。小グループでディスカッションをしている場面や、タブレットのオクリンクを使っての意見の共有の仕方を興味深くご覧になっていました。3時間目の講演会も生徒と一緒にご覧いただきました。



令和6年度保護者学校評価アンケート集計

11月5日(火)～29日(金)に実施。その後12月15日(日)まで提出期限を延長。今年度もtetoruでの回答をお願いしました。昨年度の回答率が38%であったことから、アンケートの精度を保つために、より多くの保護者の皆様に回答をいただきたいと考え、個別に提出をお願いできるように記名式とさせていただきます。その結果、全体での回答率は78%(1年82%、2年70%、3年83%)と向上しました。一方、「無記名の方が良い」というご意見もあり、一長一短であることは否めません。今後多くの意見をいただけるよう検討してまいります。

集計上【?「わからない」】にチェックをされた数を除いた総数の中の肯定的評価【A「概ねそう思う」B「どちらかと言うと、そう思う」】の割合を示しておりますのでご了承ください。(下線は前年度より3ポイント以上増減があったものです。HPではカラー版がご覧いただけますので、こちらもご覧ください。)

番号	設問	肯定的評価(%)		
		R4	R5	令和6年度
設問1	本校は、教育目標(学び考える生徒、他を思いやる生徒、心身たくましい生徒の育成)に沿った教育活動が行われている。	95.7	94.1	95.9
設問2	本校は、生徒が充実した学校生活を送れるよう教育活動を工夫し、実施している。	94.3	94.1	96.0
設問3	本校の教員は、基礎・基本の学習内容が身に付くよう、分かり易い授業を行っている。	92.0	88.9	88.8
設問4	本校の教員は、ICT機器やグループ学習を取り入れるなど、授業方法を工夫している。	90.2	91.5	90.9
設問5	本校は、生徒のニーズに応じて、補習や質問教室などを実施している。	83.5	85.9	86.6
設問6	本校の教員は、生徒の学習状況や学習結果などをもとに、適切な評価をしている。	89.9	88.9	91.8
設問7	本校は、あいさつをはじめ基本的な生活習慣や規範意識が身に付くような指導をしている。	94.7	95.1	97.4

設問 8	本校は、いじめや不登校、非行などの防止・解消に向けた指導に取り組んでいる。	87.2	87.9	89.8
設問 9	本校は、人権や特別支援に配慮しながら、生徒一人ひとりを大切にしている。	90.8	92.7	91.3
設問 10	本校は、生徒の事故防止に努め、健康や安全に対して配慮している。	94.4	93.2	<u>96.6</u>
設問 11	本校は、個々の生徒の悩みを丁寧に聞くなど、教育相談の充実に努めている。	87.6	85.6	<u>89.3</u>
設問 12	本校は、生徒の進路や将来の生き方指導など、進路指導を適切に行っている。	90.5	87.4	88.2
設問 13	本校は、週に一度の道徳授業を要として、学校教育全体で道徳教育に力を入れている。	96.4	92.9	<u>96.7</u>
設問 14	本校は、朝読書や調べ学習・新聞づくりなど読書科の指導によく取り組んでいる。	98.4	98.0	96.9
設問 15	本校は、西一之江小学校との交流を通して、小中連携によく取り組んでいる。	96.0	99.0	97.9
設問 16	本校は、体育授業の補助運動や運動部活動でのトレーニングを通して体力向上に努めている。	91.8	97.9	<u>93.4</u>
設問 17	本校は、運動会・文化祭をはじめとする学校・学年行事が充実している。	96.2	97.2	98.1
設問 18	本校は、部活動の充実に努めている。	73.2	78.6	<u>86.5</u>
設問 19	本校は、校内美化や施設の整備など、生徒の学習環境に努めている。	97.5	98.0	97.4
設問 20	本校は、教室掲示や廊下の掲示物の整備・充実に努めている。	97.6	96.2	97.5
設問 21	本校は、生徒の新型コロナ等の感染症拡大防止に適正に努めている。	95.7	89.4	<u>95.0</u>
設問 22	本校は、授業参観や学校公開を積極的に行い、「開かれた学校」に努めている。	99.3	98.1	98.0
設問 23	本校の職員は、丁寧な電話対応や、来校者の接遇の向上に努めている。	98.4	99.0	98.5
設問 24	本校は、学校ホームページの内容の充実・必要な情報の迅速な提供に努めている。	84.0	87.0	<u>92.1</u>
設問 25	お子さまは、学校の様子や出来事を家族によく話している。	69.0	77.4	76.6
設問 26	お子さまは、朝食を毎日きちんと食べて登校している。	89.0	92.5	91.0
設問 27	お子さまは、宿題・予習・復習などの家庭学習を毎日やっている。	70.0	73.1	<u>60.9</u>
設問 28	お子さまは、場に応じた正しい言葉遣いを心掛けている。	83.0	92.2	<u>87.6</u>
設問 29	お子さまは、あいさつを自分から進んで行っている。	63.0	75.2	76.0
設問 30	お子さまは、学校からの保護者宛の手紙類を家の方にきちんと見せている。	60.0	65.7	63.6

令和6年度保護者学校評価アンケート・ご意見に対する回答

ご意見等	回答
保護者の本心からの回答が欲しいのなら無記名にしたほうが良いと思います。	記名式でもご意見を頂戴できる関係性を今後も築いていきたいと考えております。しかし、すべてを記名式にするものではなく、アンケートによっては無記名のものも残してまいります。
回答していないと手紙が来たことに驚きました。強制なのでしょうか。	お忙しい中、ご回答をありがとうございました。より多くの方にご回答いただきたいと思い、今回は未提出の方に重ねてご案内申し上げました。しかし、強制というわけではありません。
部活動は、年間を通して17時半までにして欲しい。帰ってくるのが遅すぎると思います。	現在の最終下校時刻は4月から11月までは18時半、12月から3月までは18時となっています（部活動終了はその10分前）。教員の働き方改革のこともありますので、今後十分に検討し、令和7年度以降の最終下校時刻についてお示しいたします。
部活動の活動時間を30分短くしてほしい。	
先生方の負担を増やしたい訳では無いですが、部活動にかたよりがある。仕方ないことと思いますが、人数が少なく試合が出来ないのであれば他校と合同にするなどしてもう少し試合を増やしたり、練習する機会を設けたりして経験出来たらと思っています。	ご存じの通り、部活動については勤務外の活動であり、教員の大きな負担になっていることから地域移行が謳われていますが、遅々として進まない現状があります。本校も限られた人材の中、専門ではない教員が顧問になったり、外部指導員が見つからなかったりしてご期待に沿うような活動ができない部活動があることは事実です。多くの学校で部活動のモチベーションが低い中で、本校は全員が部活動の顧問を担っております。顧問の教員のできる範囲で努力してまいります。
iPadのYouTubeは不要です。勉強とは無関係の動画を殆どの生徒が見ているので。手紙類はアプリ配信にして欲しい。	仮にYouTubeアプリがなかったとしても、サイトで検索した動画を閲覧することはできるため、残念ながら根本的な解決にはなりません。学校でも引き続き使用についての指導はいたしますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。 また、手紙類については、紙でお渡しするもの、tetoruで配信するものを分類しながら配布しております。tetoruの配信のみにしてしまうと、生徒の目に触れないまま保護者に届くことになるため、ご理解ください。なお、「今週の配布文書」を毎週学校ホームページに掲載しておりますが、このデータをtetoruでお知らせすることについては検討してまいります。
授業内で行われる小テストの点数や、提出物の評価なども、定期テストの結果のように積み重ねて確認できる資料があると、日々意識しながら取り組むことができていると思います。また、保護者としても成績表を元に子供と話をしている際、影響する部分を明確にさせていただくことで、具体的な話し合いができて助かります。タブレットがあまり活用されていない印象があるため、子供自身が日々の管理に活用できれば尚良いと思っています。	教科担任は日常の小テストや提出物の評価などを記録として残しています。もちろん評価・評定の付け方については、4月の段階で生徒には示していますが、学期の途中で状況を本人や保護者に説明したりすることはできると思います。また、学期の終わりに行う三者面談でも、教科担当から聞き取った内容を保護者にお伝えしていますが、より詳しい説明が必要であれば教科担当にご連絡ください。タブレットの日々の管理への活用については今後検討してまいります。
タブレットの使用時間を、保護者が学校が制限できるようにしてほしいです。いくら自制できるようにする訓練だとしても、設定なしでは保護者の負担が大きいです。「やめなさい、もう時間だよ、長くやり過ぎてよ」などの声かけだけでは効かず、力づくで取り上げる訳にもいかず、親の体力が尽きてしまい、夜中 無法状態になってしまいます。どうか ご検討ください。お願いします。	ご家庭での協力を感謝いたします。物理的に使用できなくなることは、解決方法の一つではありますが、江戸川区教育委員会は、タブレットの時間による使用制限を設定しない方針であることを通知しています。このため、学校もその方針に従い、現在の運用がされています。Wi-fiに接続しなければ使用できないタブレットですので、ご家庭でのWi-fiについてのルール設定は可能かもしれませんが、（これはタブレットに限らず、スマートフォンやゲームの使用ルールを設定する際にも有効です）
提出物の出し忘れや、翌日の忘れ物を防ぐため、連絡内容がタブレットで確認できるようになるとよいと思う。	タブレットの活用は技術的には可能です。一方で、翌日の時間割や持ち物を自分で確認して準備することも大切です。教育的効果を見極めながら、検討してまいります。
リュックが重すぎて、成長の妨げになっている気がする。机の中に入れる等、もっと対策してほしい。	特に新入生の持ち物については多くの同様の意見が寄せられています。「学校に置いていっていいもの」は毎年

	お示ししていますが、拡大できないか検討してまいります。
委員の負担がすごい。自宅で祭りの準備をするなど大変すぎる。フルで仕事をしている人にはとくに。そのせいで五中や他の学校に行く人が多いのも納得できる。PTA役員が仲良いのは分かるが、運動会で騒いだり恥ずかしく思う行動も多く、絶対入りたくないと思った。多くの保護者が見ています。他の学校がなぜPTAをなくしているのか考えて欲しい。	本校の生徒のために、多くの委員さんに負担いただいていることに感謝申し上げます。内容や形態については毎年振り返りを行い、改善点を検討し引き継いでいくことにしています。ご意見をお寄せいただくと助かります。多くの保護者・地域の方の注目いただいていることは分かります。多くの方にご協力いただけるPTAの姿を目指していきたいと思っております。
PTAやあいさつ運動など大切なことだとは重々分かってはいるが、仕事との兼ね合いが大変難しいです。ご時世も含め、そろそろ改正していてもよいのではないかと思います。	お仕事の合間を縫って参加いただいている方も多く、その愛情が子供たちには伝わっていると感じています。もちろん予定していても仕事で参加が難しい時もありますので、できる方に代わっていただき、次の機会に参加いただくことも可能です。できる範囲で関わっていただければありがたいと思っております。
6中まつりなどのPTAの活動(子ども一人につき1年間やる委員活動)の負担が大きいと感じます。担当になってしまうと、出店への手配など、分からないことも多い中、仕事をしながら取り組むには時間的・精神的負担が大きいのと思います。皆、子どものために活動することは進んでやりたいと思うので、コロナ禍のように簡素化したり、やれるときにやれる人がやるような、都度募集にして仕事を細分化するなど、特定の人だけにかかる負担を減らす方向になると良いと思います。	六中まつりはコロナ前には午後いっぱい(半日)、校庭で焼きそばなどの調理も行っていました。現在は2時間枠で調理もしない形に変わってまいりました。西一之江小の児童も楽しみにしておりますし、松江六中の生徒会や部活動も参加し、その様子を地域の皆さまに観ていただくいい機会になっております。PTAの委員会の中で分担をもう少し工夫し、お一人にかかる負担を軽くしながら、PTAの方も一緒に楽しめる六中まつりをつくっていきたくと考えております。
本校の先生方は行事に対して真剣に全力で取り組んでくださっていると感じています。ただ、小規模であることから、先生方の転出転入によりその雰囲気を持していくことは難しく、また先生方への負担となるのだろうとも感じています。ですが、多感な時期の子供達は先生と一緒に何かを感じた、経験したことは一生の思い出になるはずで、引き続き子供達の貴重な成長における道標となるようご指導いただきますようお願いいたします。	生徒たち一人一人の成長のため、そして生徒の全力に応えるため、教職員はチームとして精一杯務めております。ご意見にあります通り、松江六中の教職員の数は決して多くはありませんが、教職員の異動等によって生徒に不利益を生じさせたり、不安を抱かせたりすることのないようにこれからも努めてまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。
いつもお世話になっております。学校での話は事細かに聞いておりまして、学校の様子が大変よく伝わってきています。楽しく通学でき、勉強や部活に励んでいるので現状が維持できればと思います。今後ともよろしくお願い致します。	ご家庭で学校のことについて話題にさせていただけるのは大変ありがたいです。思春期の難しい時期ではありますが、お子さまを中心に、ご家庭と学校が車の両輪として同じ方向を向いて進むことができると考えております。引き続きよろしく申し上げます。
日々ご迷惑をお掛けしますが宜しくお願い致します。	
中3という難しい時期ですが、本人は学校へ休むことも遅刻することも、行き渋ることもなく通う事ができました。親として心強く、とても安心しております。今後ともよろしく申し上げます。	
学校だよりの校長先生の文章がとても好きで毎回楽しみに読ませて頂いています。子供に私も伝えていきたいなと思うことも多くあり、大切に保管させて頂いています。	ありがとうございます。励みになります。これからも生徒・保護者・地域の方に読んでいただける紙面づくりに努めてまいります。
小学校では出来なかった行事や部活動など、しっかり行って頂き、本当に充実した中学校生活を送る事が出来ました。先生方も生徒と一緒に一喜一憂して下さい、本当に感謝しかありません。とても良い学校だと思います。	コロナの厳しい時期があって、行事をやりたくてもできなかった状況はどこの学校でもあると思います。松江六中は規模もそう大きくないことから、小回りが利き、かたちを柔軟に変えながらできる限り中止にせず行事を行ってまいりました。今後もそのスタンスは変えず、常にその時の最善を目指して工夫して行事を行ってまいります。
いつもご指導いただきありがとうございます。先生との信頼関係の中で様々な事を学び日々成長しているように思います。残り限られた中学校生活ですが、引き続きご指導よろしく申し上げます。	生徒の身近にいる大人の見本として、松江六中の教職員はまずは生徒に信頼される人であって欲しいと思っています。これからも生徒に寄り添い、背中を押してあげられる存在でありたいと思っております。
忙しい中、子どもに寄り添い、考えていただけてることを心より感謝しています。	
学校行事や学校公開時にお邪魔すると、先生方が生徒さんの状況を見て、よくご配慮くださっている様子が分かってありがたいです。	

※1月の行事予定は紙面の都合上カットいたしました。